

令和 7 年 4 月 7 日

令和 7 年度 1 学期 始業式 挨拶

皆さん、おはようございます。新年度を迎えました。新しい学年として、新しいスタートとなりますが、先ほど紹介したとおり、新しい先生方や職員の方もたくさんいます。今日から気持ちを切り替えて、また新たな一歩を踏み出しましょう。

さて、先週の火曜日は 4 月 1 日ということで、エイプリルフールと呼ばれる日でした。16 世紀にフランスでグレゴリオ暦という暦の数え方が採用された際に、制度の変更に反発した民衆が大騒ぎしたことが起源、などと言われています。

私たちは多かれ少なかれ、嘘をつきながら生きていると言っても過言ではありません。例えば、部活で筋トレをしている際に、他の人より少ない回数しかこなしていないのに、同じだけ達成したようにふるまうことなど、日常的にみられる小さな嘘かもしれません。このように、嘘をつく、他の人をだますことはできますが、自分自身をだますことはできません。嘘をつくことの限界は自分だけがだませない、というものです。自分がやりたいこと、やりたくないことは自分だけが一番わかっているものです。人には言えない夢や希望、触れてほしくない悲しみや失意は自分自身が一番わかっているものです。

本校には 700 人の生徒と教職員がいますから、価値観の合わないクラスメイトや先生たちと折り合いをつけて生きていかななくてはなりません。ただし、折り合いをつけると言っても自分自身を失ってしまうような、自分に嘘をつくような生き方を選択する必要はありません。自分に正直に生きることは時に大変なことです、自分を守れるのは自分しかいないことは忘れてはいけません。

授業や特別活動で先生が言っていることが納得できなかつたら、聞きに行けばいいし、教室の中で、無理して仲間に同調する必要もありません。友達が作れないことや自分を受け止めてくれる人がいないことを嘆く声を聴くことがあります、今の周りに心を許せる人ができなくても、この先には別な出会いがあるかもしれませんし、一人でいることで、初めて理解できることもあるはずです。

皆さんの様子を昨年度 1 年間見てきて、とても品がよく、礼儀正しい、自分より他者を優先する謙虚さをもった集団だな、と思って見ていました。それは素晴らしいことですが、もう一つ望むことは、もっと自分に自信をもって、もっと自分に正直に、堂々としていて大丈夫なのだ、ということです。

いつも自分の声に耳を傾けてほしいと思います。

最後に自分を大切にする話の続きで、性暴力に関する話をします。本日、ホームルームで性暴力やハラスメントに関する文書を配布します。最近でも芸能界等で性暴力の被害が明るみになりましたが、先ほど話した、自分を大切にするためにも、性暴力は絶対に許されない行為です。被害にあったり、遭いそうになったら、勇気をもって声をあげてほしいと思います。また、最近ではスマホによる盗撮行為の場面で、加害者と被害者が身近にいる、というような報道も聞きます。被害を防ぎ、被害者を守ることは何よりも大切ですが、一方で、軽率な行為により、加害者も大切な自分を一生失ってしまうような極めて重い罪を背負うことになります。刑罰で裁かれることだけでな

く、周りからの信用を失い、否定されてしまう存在など、誰も望まないはず
です。自分を大切にすることは他人の領域には安易に踏み込まないことでも
あることは、覚えておいてください。

明日は1年生が入学してきます。2年生は後輩ができ、3年生は最上級生
としてふるまうことになります。新しい環境が始まるタイミングだからこそ、
自分が今どこにいるのか、見失わないよう、自分の声に耳を傾け、自分を大
切にしながら、一人ひとりが自分らしく歩んで行く、そんな1年にしてくだ
さい。

私からの話は以上です。